

## 1 石川県 中能登町議会

「能登半島地震における被害の概要と行政対応。復旧・復興の現状と課題。防災施策のし直し等具体例。発災後の議会对応について」

地震からもうじき2年になるが、下水道が復旧しておらず被災した建物の耐震工事が進んでいない。原因として下水道関係者の職員不足や他のライフラインの復旧を優先している。震災当時は他県から応援に来てもらい罹災・被災証明を発行した。給水所の開設は消防団を中心に運営してもらった。こういった教訓を得て、災害に強い町づくりを進めている。町に危機管理課を設置し、防災支援拠点を作る取り組みを行っている。

## 2 石川県羽咋市 JA はくい 営農部のと里山農業塾

「有機農業実施計画の概要と課題。農地の担い手確保の現状と展望。慣行農業従事者との共有。行政との共同について」

農業後継者不足と移住者を増やすために羽咋市とJA はくいが協働している取り組み。有機栽培の農産物は値段が高くても一定の需要があり年々増えている。そこで羽咋市では、はくい式自然栽培農産物認証基準を設けており、里山農業塾の卒業生がその基準をクリアし自然栽培農産物として出荷している。

## 3 福井県 あわら市議会

「行政DX推進における現状と課題。DX推進事業の概要と各分野での具体施策について」

一般市民に対して、スマートフォンやタブレットの使用を進められるよう、よろず相談所を開設。デジタル推進委員を任命し市民を巻き込んでDX推進事業を進めている。議案書をペーパーレス化し印刷枚数を年間118,400枚削減できた。ただ、広報あらわなどの広報誌については読んでもらわなければ意味がないため紙対応している。

## 4 福井県池田町 ウッドラボ池田

「林業振興について。ウッドラボ池田の視察他」

木造の新庁舎をR9年5月完成予定。新庁舎内の熱供給は、環境にやさしい脱炭素化人材バイオマスチップを使用している。①ウッドファースト事業：1歳を迎える子どもに積み木を贈る②木の札プレゼント事業：小学校1年生に6年間使用した自分の机と椅子のセットを贈る、20歳を迎えた成人者に町産材を活用した節目ギフトを贈る。林業振興としてR9年5月池田町新庁舎木で創る予定である。

全体を通じて

能登半島地震は元旦の夕方に発生した。災害は予想がつかず、どのような対応についてもすべての人が被災者である中で、何ができるのか難しいところだと感じた。

羽咋市と JA はくいが協働し、有機栽培を軸にした新しい農業で移住者を増やし、そこに雇用を生む施策は面白いと感じた。量より質重視の農業は、世の中の流れを見ても非常に合っていると思う。

あらわ市における DX 推進の方向は理解出来るが、全てペーパーレスで良いのか難しい。ウッドラボ池田において木の文化を残すことは大事だと思った。